

経営分析値を比較し、自社の強み・弱みを把握

資金繰りの改善や収益向上に役立つ様々な経営分析値を、同業種の優良企業、黒字平均、黒字中位と比較し、自社の強み・弱みを確認できます。

ホーム > 要約貸借対照表 (09999/999)株式会社TKC食品 堤 敬士 システム終了

2019年12月01日現在(期首から9か月) 2019年12月 細分類 前年同月

資産の部		負債・純資産の部		経営分析値			同業他社			
		自社								
行	項目	当月	前年同月	悪化	改善	対比	BAST優良企業	BAST黒字平均	BAST黒字中位	
1	売上債権回転日数 (日)	28.1	30.3		2.2	92.6	57.5	48.5	38.2	
2	棚卸資産回転日数 (日)	5.4	5.3	0.1		101.8	48.4	29.0	30.4	
3	買入債務回転日数(支払) (日)	34.1	40.6		6.5	84.0	46.1	58.2	37.2	
行	項目	当月	前年同月	増加	減少	対比	BAST優良企業	BAST黒字平均	BAST黒字中位	
1	総資本経常利益率 (%)	0.5	1.1		0.6	43.3	11.6	4.6	3.5	
2	株主資本経常利益率 (%)	0.7	1.6		0.9	43.6	-	-	-	
3	総資本回転率 (回)	0.9	1.0		0.1	86.0	0.7	0.9	1.2	
4	売上高経常利益率 (%)	0.5	1.1		0.5	50.3	17.2	5.0	2.8	
5	当座比率 (%)	196.6	284.5		87.9	69.1	768.2	287.4	169.2	
6	流動比率 (%)	205.0	296.1		91.1	69.2	883.3	342.6	217.3	
7	固定長期適合率 (%)	77.9	71.7	6.2		108.7	15.6	50.8	65.9	
8	自己資本比率 (%)	68.1	68.6		0.5	99.2	88.4	61.2	52.4	
9	株主資本比率 (%)	68.1	68.6		0.5	99.2	-	-	-	

BAST値(令和3年版)
業種：0949 その他の調味料製造業

※TKC経営指標 (BAST) とは

中小企業24万社超、1,170種類、65分析項目を収録した、世界でも類例の無い経営指標です。高い精度と速報性を持つ経営指標として、金融機関などからも高く評価されています。

同業他社比較や業績シミュレーションを行いたい 当期決算の先行き管理

最新実績をもとに未経過月の予測を行い、**期末の着地点をシミュレーション**できます。
黒字決算を実現するための**打ち手**をいつでも検討できます。

ホーム > 当期決算の先行き管理 (09999/999)株式会社TKC食品 堤 敬士 システム終了

2019年08月現在(期首から5か月) 2019年08月 売上比 期末の前年比を当月と同一とする

当月までの実績				+ 期末までの予測※		= 期末の着地点		
行	項目	①実績 2019/04~2019/08	構成比	②予測(自動) 2019/09~2020/03	構成比	③当期末決算額 (① + ②)	構成比	前年比
1	純売上高	100,266	100.0	143,477	100.0	243,744	100.0	100.1
2	期首棚卸高							
3	仕入高							
4	外注加工費							
5	他の変動費							
6	月末棚卸高(△)							
7	変動費合計							
8	限界利益							
9	人件費							
10	他の固定費							
11	設備費	7,040	7.0	10,581	7.4	17,622	7.2	111.1
12	棚卸高増減(△)	27	0.0	-477	-0.3	-449	-0.2	
13	固定費合計	46,836	46.7	65,960	46.0	112,797	46.3	99.6
14	固定費要圧縮額							
15	戦略予備費							
16	経常利益	3,402	3.4	5,921	4.1	9,324	3.8	94.6
17	特別損益							
18	税引前当期純利益(損失)	3,402	3.4	5,921	4.1	9,324	3.8	94.6

打ち手

- **固定費要圧縮額**
目標経常利益を確保するために、期末までに圧縮しなければならない経費の額を表示します。
- **戦略予備費**
期末までに、経営者の意思決定により戦略的に活用できる予備費を表示します。

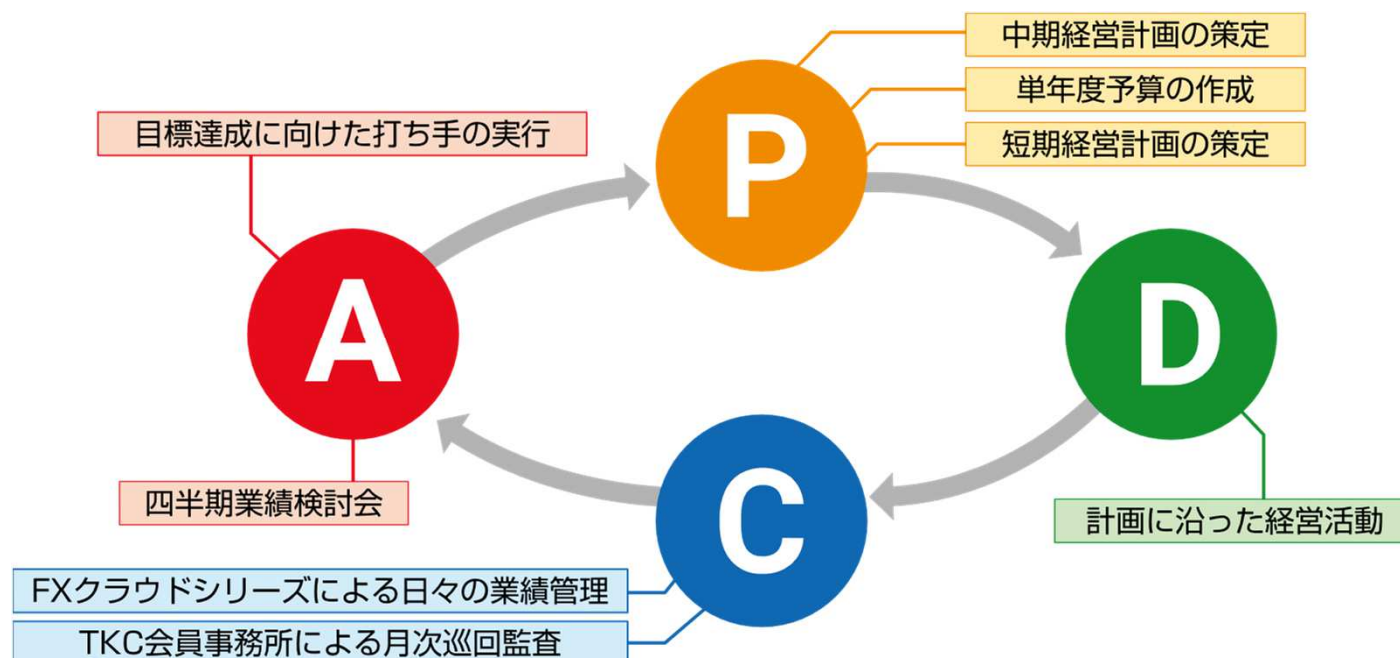
※「期末までの予想」は、次の5種類を選択できます。

①着地点を入力する、②期末の前年比を当月と同一とする、③業績予想値を入力する、④実額で入力する、⑤継続MASで作成した計画を用いる

ご参考：TKC会員事務所が「PDCA」定着を支援

TKC会員事務所が、経営者のビジョンに基づいた「中期経営計画」、次年度の業績管理のための「単年度予算」の作成と「短期経営計画」の策定を支援します。

また、計画と実績の検証を継続的に実施します。問題点の発見・対策を検討するための「業績検討会」や「戦略的決算対策検討会」の開催を支援し、黒字決算の実現に貢献します。



支援に当たっては、会計事務所用システム「TKC継続MASシステム」を利用します。